

秋田県書道連盟会報

第 124 号
 秋 田 県 書 道 連 盟
 事務局
 秋 田 市 泉 野 一 丁 目 18-1
 三 浦 湯 舟 彦 部
 三 浦 湯 舟 彦 部
 発 行 人 長 沼 雅 彦
 編 集 広 報 部
 (題 字 : 長 沼 雅 彦)
<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

今後の展開を期して

秋田県書道連盟理事長 長 沼 雅 彦



朝から晩まで、コロナ、コロナの連呼である。うんざりして、せめて会報の中では書の悠久の世界にひたっていたいのだが、この禍は連盟の活動にまで執拗に入り込んでくる。書道文化を愛好する我々が、時に応じて集い、膝を交えて書について語り合い、行動し、互いを高めあうといった機会を大きく阻害されてしまったのである。そのようにせざるを得なくなった経緯はさうである。

今年度に入り、連盟全体の活動を話し合うために部長会を開催した。マスクをして、密をさげそれぞれの部の活動状況を報告し、今後の方針について話し合った。その中で、現状では、常任理事、理事会、続く総会の開催、そして八月の連盟展、筆供養、十月の実技講習会は、開催できないだろうとの結論に至った。このことは会員の皆さんには、文書でお知らせし、会長には私から手紙でご報告した。このことに関しては前回の会報に掲載された会長のはげよい文章によってもご承知のことと思う。

☆ ☆ ☆

その頃の感覚では、この状況もいずれは沈静化し、よく言われるウイズコロナとして、注意しながらコロナと共存していくことになるのかと希望的に考えていた。しかし、その後の第二波、第三波と、猖獗を極めているコロナの現状をみるにつけ、事はそう簡単ではないと思知らされた。それでも世界の諸国に比べると日本人のコロナに対する対応は、まだまだに見え、日本では秋田県感染者数が、下から二番目に保っているのも少しはプラスの材料に思いたい。

☆ ☆ ☆

さて、このような時でも、連盟の活動する余地はあると考える。昨年の実技研修会であったか、研修部長の竹村氏が、自身のパソコンを駆使して制作した高校での書道授業の動画をみせていただいた。使用している資料の質も二昔前とは(筆者の学生のころ)とはまったく異なっており、展開の仕方も若い生徒たちの心をつかむものであった。部長会の折に竹村氏が、連盟のためにも協力を惜しまない、と、言ってくれたので、彼の力を借りて、今連盟会員向けの動画制作を計画しているところである。それをIT委員会と協力して動画を配信する予定である。

それによつて期待される効果は①実技の連筆、用筆、執筆法、腕法等執筆者の技術を細微にわたり一刻一刻と目の当たりにできる。②書道史上の名品を解説つきで鑑賞できる。③書

という芸術とは何か、を考えるうえで必須の書論について知る。このような事を念頭におきながら進めていきたいと思っている。

ただし、会員の皆さんが全てパソコンをもってはいないだろうし、操作にも慣れてはいないかもしれない。しかし今は、簡単スマホなるものが普及しはじめている。筆者の教室の比較的高齢の方も楽に使いこなしているようだ。期待したい。

☆ ☆ ☆

第十二回の書初め展は、魁新報と話し合い実施することにした。当然、武道館に集合しての本来の書初めは到底望むべくもないことから、昨年同様作品公募とすることとした。昨年の武道館修復のための作品公募が、図らずしも今回のリハールのかたちになった。

応募点数九百二十点余昨年に引き続き多くの作品が集まった。これも会員の皆さんの協力のおかげである。審査は、コロナ対策を踏まえて、審査員を現職の方、高齢の方、その他できるだけ人数を減らして行った。作品のレベルは、非常に高く、全国どこに出しても恥ずかしくないものであった。秋田の書、書道文化の未来を担う若い芽がこのまま順調に育つていくことを切に願うものである。

明るい話題を二つあげる。これはコロナ収束のことになるが、来年度連盟六十周年に向けてである。これまで、四十周年は甘肅省、五十周年は韓国、北東北との交流展と人的交流を行ってきた。それぞれ思い出が深いものがあるが、この度は、台湾との交流を計画している。

会員数減少からの予算が心配されたが、幸いにも昨年の書初めにあたつて、魁新報側は、公募形式なので、出品料は無料が良いとのことであったが、連盟側では記念行事に向けて少しでも積み立てを確保するため、半額にしてそれを連盟側に入れることを提案し了承していただいた。今年度も同様になり、基礎的な予算のめどは立っている。魁新報側のご理解には心から感謝する次第である。

総務副部長の山谷氏は前回の韓国との交流時に大車輪の活躍だった。この度の台湾交流にも人脈を生かして道筋をつけていただけそうである。会員の皆さんの声を聞きながら良い方向に進めていきたい。

△ 名誉顧問・前会長 △

小笠原直樹氏のご逝去

— ご冥福をお祈り申しあげます —



令和三年三月三日ご逝去されました。享年69歳。

- ・ 09～19年3月連盟会長
- ・ 19年4月～名誉顧問

第10回秋田県新春書初め席書大会の書道体験コーナーで「魁」を揮毫されました。

(平成三十一年一月十三日)

前会長小笠原直樹氏のご逝去を悼む

秋田県書道連盟理事長 長沼雅彦

三月三日午後、魁新報OBの方から電話で前会長のご逝去の報を伝えられた。あまりの突然のことで、ただ茫然自失の状態におちいった。ご病気のことは存じ上げていた。しかし、退院されてからは、県体協会長のお仕事での写真など拝見して安心していた。連盟の各行事でお世話になったこと、飲みながら様々な話をしたこと、ゴルフを一緒に回っていたこと、次々に思い出がうかんでくる。

魁新報新社長になられた前会長に、当時の副理事長の土田石牛氏とともにご挨拶に伺ったとき、当時の武道館館長目黒大作氏から、書初めの企画を打診されているとの話があった。我々としてはまさに渡りに船とばかりに企画を立てて、魁、連盟、武道館という書初め行事としてはこれとない強力な三団体共催の形で、実行にこぎつけた。その内容も伝統芸術、武道、書文化が一体となって子供たちに体験してもらおうという、他にみられないスケールの大きいものにしたのであった。その開催を報じた魁新報の紙面は、華やかで力のこもったものであり、あたかも新社長のスタートを祝すようであったのを思い出す。

もう一つ、「東日本大震災復興応援メッセージ展」を企画した際、当時の東北六県と新潟県の新聞社、共同通信の社長の会合でこの事を前もって紹介していただき、実際に表彰式は、サキガケホールにその方々のご列席するまで、行ったのである。我々連盟会員も一丸となって実現にこぎつけたが、前会長は紙面の広告にひとかたならない気を配っていた。ある社からは大型寄付も取り付けていただいた。

ただ二つの例をあげたが、思い出せば連盟に与えてくださった恩誼は語りつくせるものではない。与えられた紙幅がきつたので、もう筆をおかなければならない。瞼を閉じればあの堂堂たる体格と温顔が浮かんでくる。天国から私たちを見守ってくださいと思う。心からご冥福をお祈りいたします。合掌

第 12 回秋田県新春書初め大会

【主催：秋田魁新報社 秋田県書道連盟 秋田県総合公社】

本大会は例年、秋田市の県立武道館を席書会場として開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品を事前に募集し、1月24日(日)に秋田市のアトリオンで作品審査が行われました。応募総数992点の中から選ばれた特別賞13点(幼児・小学生、中学生、高校生)の作品を紹介します。なお、すべての応募作品は、2月23日(火)から27日(土)までアトリオン2階美術展示ホールに展示されました。

(作品写真は秋田魁新報社提供)

【 特別賞 】

小四
美しい朝
戸澤理子
戸澤理子
戸澤理子
戸澤理子

戸澤 理子 (大仙市・花館小学校4年)

小三
あきたた犬
夏井花
夏井花
夏井花
夏井花

夏井 花 (男鹿市・船川第一小学校3年)

小二
かまくら
鈴木木かん太
鈴木木かん太
鈴木木かん太
鈴木木かん太

鈴木 栞太 (大仙市・大曲小学校2年)

小二
まぼろし
斎藤愛椋
斎藤愛椋
斎藤愛椋
斎藤愛椋

斎藤 愛椋 (大館市・扇田小学校1年)

小六
くっつ
小林健太郎
小林健太郎
小林健太郎
小林健太郎

小林健太郎 (聖霊女子短期大学付属幼稚園・保育園)

中三
生命の尊厳
後藤惠莉奈
後藤惠莉奈
後藤惠莉奈
後藤惠莉奈

後藤 惠莉奈 (大仙市・大曲中学校3年)

中二
前途有望
新目晃子
新目晃子
新目晃子
新目晃子

新目 晃子 (大仙市・仙北中学校2年)

中一
気力充実
松橋葵
松橋葵
松橋葵
松橋葵

松橋 葵 (大仙市・大曲中学校1年)

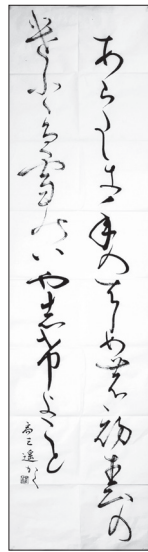
小六
書芸墨墨美
竹村心那
竹村心那
竹村心那
竹村心那

竹村 心那 (大仙市・大曲小学校6年)

小五
令和の春
鶴谷裕子
鶴谷裕子
鶴谷裕子
鶴谷裕子

鶴谷 裕子 (美郷町・仙南小学校5年)

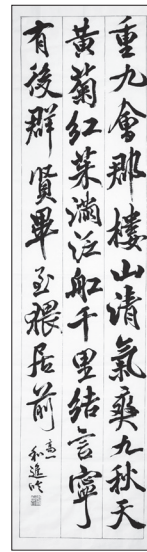
【 特別賞 】



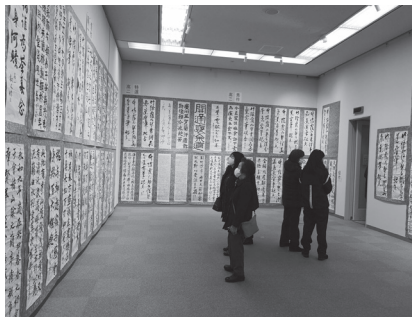
加藤 遥 (明桜高校3年)



安井 沙織 (能代松陽高校2年)



杉本 和進 (大曲高校1年)



秋田県書道連盟 第5回新春小作品書展

会期：令和3年2月23日(火)～27日(土)

会場：秋田市アトリオン2階美術展示ホール

第5回新春小作品書展がアトリオンで行われ、本連盟会員82名の作品が展示されました。多彩な作品が並び、会場は新春にふさわしい華やかな雰囲気満ちていました。



おめでとうございませう

第83回秋田書道展

第83回秋田書道展が10月31日(土)から11月4日(水)まで、秋田市アトリオンにて開催されました。本連盟会員の魁星賞、推薦、特選の受賞者を紹介します。(作品写真は秋田魁新報社提供)

◆魁星賞 伊藤 雅人 (由利本荘市)

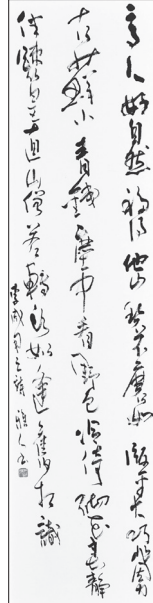


「魁星賞を受賞して」

秋田書道展の無鑑査になって二十五年度、魁星賞は自分には無縁のものと思っておりましたので、試行錯誤を楽しみながら、毎年出品する事を目標にしておりました。そんな中、思いもかけないこの度の魁星賞受賞、大変な驚きと感激でいっぱいです。また、過分な講評を頂き大変恐縮致しております。

仙台に居るはずの師森川柳岱先生にお知らせ出来たら、どんなに喜んでいただけたらと思うと残念でなりません。今回の作品も師の言葉を思い出しながら、出だしは淡々とした音楽のイメージで筆を運びました。コロナ禍の自粛中で例年よりも枚数を重ねたつもりです。

連盟の会員になって多くの書の仲間が増えた事が私の財産になっています。今回の受賞に際し、皆様からお祝いの言葉を頂戴致しましたことに感謝申し上げます。すと共に、今後ともご指導のほど宜しくお願致します。

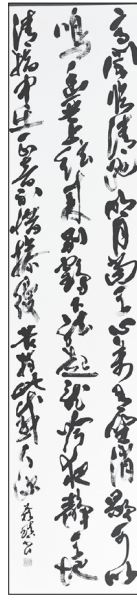


◆推薦 (自運漢字) 角田 萩 瑠 (秋田市)

この度、秋田書道展におきまして推薦を拝受しましたこと、信じられない思いで一杯です。ご指導くださいました先生方、社中の先輩や友人、それから連盟の先生方の温かい励ましのおかげと心からお礼申し上げます。

コロナ禍で世界が一変してしまっただけ、自身の生活態度を問えば反省の念ばかりです。必要で確かなものだけが生き残る時代となるのでしょうか。一抹の不安を感じつつ毎月の競書提出期限に追われ、二八作品も必要に迫られて出品に至る次第です。

悩みながら夢中になれる楽しみや幸せを再発見できました。今後も学べることに感謝し、続けて参りたいと思います。



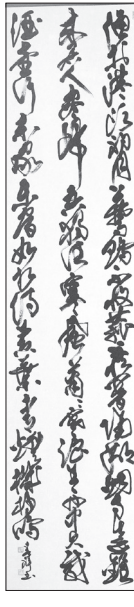
◆推薦 (自運漢字) 深井 春 祥 (潟上市)

この度は、好運にも推薦を受賞することができました。審査員の皆様、秋田墨滴窓友会や書友誌の皆様をはじめ、日頃お世話になっている皆様の方々に、心から御礼と感謝を申し上げます。

結果発表の新聞を広げた瞬間、自分の作品が目に見え込んで、身に余る光栄をかみしめるとともに、今回初めてとなる賞の重みと大きさを徐々に実感してきている今日この頃です。

ただただ書くことが好きで、毎日書いていることに一定の評価を頂くことは、純粹に嬉しいものです。同時に、励みにもなります。

書は線が命です。今後も、更なる線質の追求と、自分らしい書を目指し、日々精進してまいります。ありがとうございました。



◆推薦 (自運漢字) 山口 美代子 (秋田市)

この度、秋田書道展自運漢字部門で「推薦」をいただき、びっくりしております。なかなか思うように手が動いてくれず、あせっております。

瀧の会に入ってから二十年、長沼先生には厳しくそして温かくご指導いただき感謝申し上げます。

そして県書道連盟の方々の作品を拝見すれば、刺激され、自分はまだまだと思ってきました。

ここ四・五年は体調が良くない日が多かったのですが、楽しみながら自分らしく「書」に向き合っていたいと思っております。



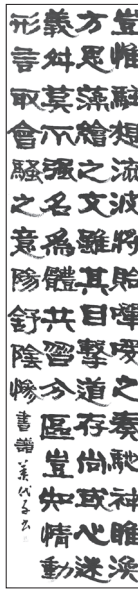
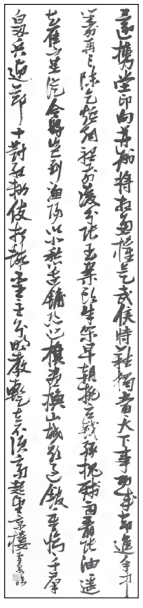
◆推薦 (臨書漢字) 松橋 聖 泉 (秋田市)

この度は、秋田書道展臨書漢字部門に於いて推薦をいただき、ただただ驚きを隠せません。

一重にご指導いただきました小松璐秋先生をはじめ、教室の皆様のアドバイスや家族の支えがあったからこそこの受賞だと思っております。

四行の作品は初めての挑戦で、何度も挫折し、出品を諦めようかと思うことも多々ありました。その度に「臨書は今後作品を書く上で大切な礎だから、頑張つてやってみなさい。」と励ましていただきました。その言葉を胸に今回出品することができました。

今後も書道連盟の皆様のご指導を頂きながら、たゆまず書道に向き合い、精進して参りますので、宜しくお願致します。

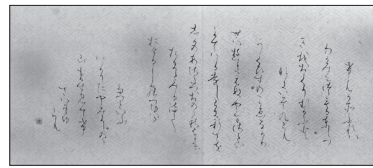


◆推薦 (自運かな) 嶋野青城 (秋田市)

推薦は私の実力ではまだまだ先のことだったので驚きが大きく、数日後少しずつ喜びを噛み締める事ができました。

ここ数年臨書に力を入れている元

永古今集を基調に、平安時代の優美さや華やかさを出せたらと試行錯誤の末ようやく仕上げました。未熟ではあっても見ていただくからには少しでも心に残る表現でありたいと思っています。それには様々な角度からの勉強が欠かせませんが、それこそが私の全ての活力の基となっています。書は私の人生を豊かにしてくれる大事なのですが、いつもの確かな指導をしてくださる小松紫峯先生との出会いなくしてはあり得ませんでした。これからも感謝の気持ちを忘れず制作に励みたいと思います。



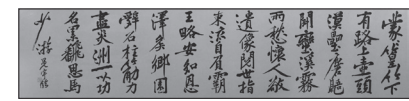
◆推薦 (臨書漢字) 香澤晃宇 (秋田市)

第83回秋田書道展にて、過分な賞を頂戴し有難うございました。



偏に、秋田師山先生、小松璐秋先生とのご縁を頂いた事に有り、又仲間との出会い、稽古出来る環境に恵まれた事に感謝しています。

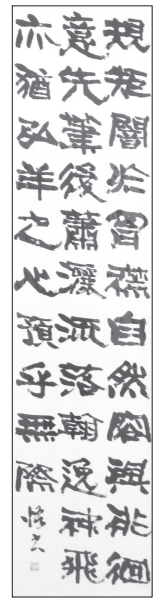
生活の中で、引算が多くなり、書きたい物をとという心情になり、初めて横物に對峙し、試行錯誤を繰り返して、16行の原帖を13行に草稿して始まり、先生から一画・一線添削を重ね、まだまだ良くなると励まされ、辿り着いた結果でした。



香澤晃宇 書

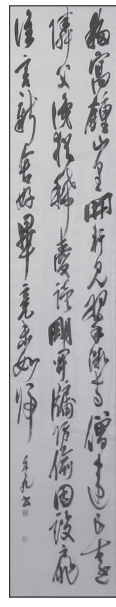
◆特選 (自運漢字) 道川屋 悟 (秋田市)

この度、秋田書道展で特選に選ばれ驚きと嬉しさでいっぱいです。 会報に載せて頂く案内があり、初出品はいつか調べてみると何と三十一年前。それ以前よりの長沼雅彦先生のご指導と瀾の会の皆様のおかげで楽しく続けてこられた結果でもらえたと思っています。 また紙面に載ったことで温かいお言葉をもらい感謝のかぎりです。前からの書の仲間があります。



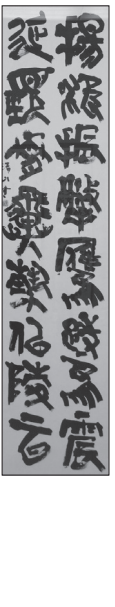
◆特選 (自運漢字) 大黒 禾苑 (秋田市)

此度の受賞は思いがけない事でした。怪我による不自由な生活を強いられている私にとって、実に二年ぶりの二×八作品だったからです。 久々に用紙に向かっても悪戦苦闘の連続でしたが、周りの方々の叱咤激励のおかげで、書けることの喜びを感じることが出来ました。感謝の念に堪えません。 まだまだ力不足ではありますが、これを再スタートとして書いていこうという思いを新たにしております。



◆特選 (自運漢字) 一ノ関 清山 (秋田市)

この度の展覧会で思ってもいなかった賞をいただき大変喜んでおります。 特選は久しぶりでしたので大

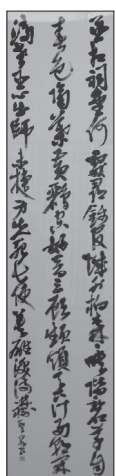


作品の8割は題材で決まると指導されていますので、文字の配置の良い題材を時間を掛けて選びました。題材は四体書勢の1節から選び、篆書、2行、16

文字。画数の多い「鷹、翼」や慣れない「雲」の書き方に苦慮しました。

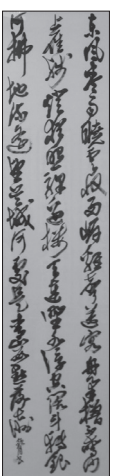
また、随分前に「立体的」に見える作品の書き方を考えていましたが、最近、立体的な書き方が蘇り、題材の「勢は雲を凌ぐに似たり」「勢一の心理は線質を立体的にならないか課題が広がります。毎日、書く喜びに感謝、感謝です。

◆特選 (自運漢字) 松橋 聖泉 (秋田市)



この度は、秋田書道展自運漢字部門に於いて特選を受賞することができ、大変嬉しく思います。この受賞は、仕事と書道の両立で掛けそうになっても諦めずに続けてきたことへの褒美だと思っています。 展示された作品を見ると、未熟な個所ばかりが目についてしまいます。書は奥深く、学ばなければならぬことがまだ沢山ありますが、これからも筆を持つことのできる環境に感謝し、書道を続けていきたいと思

◆特選 (自運漢字) 佐々木 欽月 (由利本荘市)



この度、秋田書道展において、八十二回展に引き続き、自運一科の部で特選を受賞させていただきました今年で公募展最後の受賞となり、ホッといたしております。

長い間、ご指導下さり、支えて下さった秋田師山先生や諸先生に育てていただいたお陰と、秋田師仙会の皆様の学び合える仲間がいたことに感謝申し上げます。

◆特選 (自運漢字) 小玉 竹翠 (能代市)



第八十三回秋田書道展において、特選の榮譽を戴きました。体調を見ながらの書作、出品でしたので、このほか嬉しく感激致しました。師に励まされ書友と切磋琢磨した書の長い道のりは厳しくもあり楽しいものでした。これからもゆつくりではあります。楽しみながら書の道のりを歩んでいきたいと思っております。最後に審査にあたられました諸先生に感謝申し上げます。他にすばらしい作品がある中選んでいただきありがとうございます。

◆特選 (自運漢字) 佐藤 晃 山 (井川町)

第八十三回秋田書道展の自運漢字の部で特選をいただきまして審査員の先生方には心よりお礼を申し上げます。後期高齢者になっても頑張れば良い結果が出るんだと自分を励まし感激いたしました。

作品については特に文字の大小、墨の潤滑どこにポイントを置くか等々に気をつけながら書いておりますが中々自分で納得出来る作品作りが思うように出来ません。初心に帰り色々な臨書を勉強しながら楽しく書く事に専念し長く続けたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

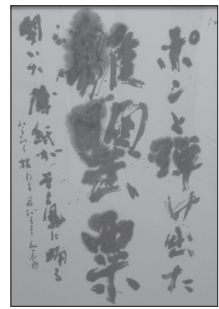
◆特選 (臨書漢字) 佐藤 穎 (潟上市)



この度、臨書の部出品作品が思いがけない賞を頂戴し大変嬉しい事でした。春光膝関節の手術を受け作品制作は到底無理と心得ておりました。猛夏が柔らぎ九月も終わる頃急に出品を思い立ち、手元にあつた徐三庚の「篆書文語雙幅」に吸い込まれるように書き始めました。出品となると不安で一杯でしたが、今の自分を表現できたらの思いでした。授賞式の案内を頂戴し参列致しました。新たな感動で勇気を頂いて参りました。45年も温かくご指導頂いております長沼雅彦先生に心より感謝を申し上げます。これからは体調を整えて新たな気持ちでよりよい作品制作を目指し、自分

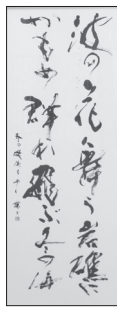
らしく書を楽しむことが出来たらと願っているところです。

◆特選 (調和体) 横山 和 萩 (由利本荘市)



地域に根付いた秋田書道展に於いて特選を頂戴致しまして大変ありがとうございます。近年、自分の言葉で表現することを心掛け、意図するものが伝わる喜びを樂しめるようになって参りました。些細な日常の出来事も、紙面構成だけでなく、墨色で全く違った表現が出来ます。到達点のない道ではありますが、これからも迷いながらも様々な表現を学び参りたいと思っております。此の度は本当にありがとうございます。

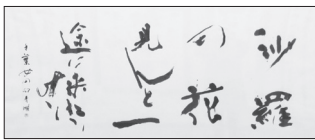
◆特選 (調和体) 菊地 謙 二 (由利本荘市)



この度の秋田書道展調和体の部で特選をいただき、関係者各位に感謝いたします。調和体は現代の言葉を書きとして表現する比較的新しい分野ですが、書としての格調と斬新さがなければならぬと言われます。言葉を書きとして表現するには、書にふさわしい素材を選び、自分の思い通りに書く技術が必要ですが、私はまだ発展途上にあります。今後も多くのことを学ぶとともに、言葉への感性を磨いていきたいと思っております。

◆特選 (調和体) 佐々木 青爛 (秋田市)

「行間はここで読むものよ。」ある若手女性アナウンサーが、どうしても朗読がうまく行かず、先輩アナウンサーからアドバイスされた言葉である。行間処理は書道においても重要なポイント。心で読むとは、すなわちその人がこれまで経験してきた喜びや悲しみ、禍いと、ほんの少しの感動の積み重ねこそが書の行間を塞ぐことが出来るのではと思う。幸い私には十分すぎる重ねた歳月はある。



◆優作 (自運漢字) 木村 光 楊 (湯沢市)



この度は思いもよらず優作賞をいただき感激で胸一杯です。ありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で多くの展覧会が中止となり、その上三十五年以上も師事して参りました下田歌禾先生がお亡くなりになり、途方に暮れなかな筆をとれずにごして参りました。「書くしかない」と師に言われた言葉を思い出しながらなんとか仕上げた作品です。今まで教えていただいたことを大切に今後一層精進していきたいと思っております。

一般書道総合誌 教育書道

68年の歴史をもつ秋田県随一の月刊書道誌
書写指導に好評を得ております。

書友社

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11
TEL 862-3484 FAX 862-3485

第53回秋田県高等学校総合美術展【書道部門】開催報告

秋田県高等学校文化連盟 書道部会委員長 恵比原 真琴
(秋田県立秋田明徳館高等学校 教諭)

令和2年11月13日(金)から16日(月)まで、アトリオン2階第一展示室を会場にした県内高等学校書道部員の作品展は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から生徒の動員を求めず、長沼雅彦秋田大学名誉教授による審査と、入選以上の230点の展示のみでの開催でした。来場者用に非接触型体温計、手指消毒液、消毒用シート、使い捨てマスク、健康チェックカードなどを準備したり、御来場いただいた方々に3密を避けていただいたりして無事に終わられました。

なお、秋田テレビ公式ユーチューブで特賞と推奨作品70点を紹介していただきました。



【会場入り口の様子】



【受付の様子】



【特賞作品4点】



【会場内の様子】

那 墨痕あざやか **波**

あなたの筆勢を伝える筆。
「書」の心をうつす墨、紙。

那波紙店

〒010-0921
秋田市大町四丁目3-35
☎ 018-823-4311(代)

総合書道用品販売

- ◎展覧会・企画・展示
- ◎〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎文房四宝・低価格にて提供しております

株式会社 **くらや**

〒010-0952 秋田市山王新町4-5
TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004
ホームページアドレス <http://www1.ocn.ne.jp/~kuraya>
メールアドレス kuraya@seagreen.ocn.ne.jp



千田寿山小品展
R3.1.18~2.28

これまでに開催された 主な展覧会 (連盟会員所属団体)



第16回由利本荘美術展
R3.1.30~2.3



第38回窓友会書道展
R2.11.6~8



第46回秋田県秀作美術展
R3.2.25~28



第19回秋田一先会かな書展
R2.11.28~30



第8回書遊会展
R3.3.4~7



第43回瀾の会書展
R3.1.8~10



第59回秋田市書道会書展
R3.3.5~8



第16回毎日書道秋田新春展
R3.1.14~18

会員募集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。

会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。ホームページもごらん下さい。

事務局 秋田市泉菅野一丁目18-1 三浦湯舟

ホームページ <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

編集後記

三月・四月は移動や変化の時期であります。
自然は芽吹きから開花の時であり、人は別れと出会いの季節でしょう。

昨年、秋田の桜は麗らかな日や、花冷えの雪の降る日にも様々な様相を見せてくれました。しかし、コロナ禍により、その花は重い空気の中では期待に胸を膨らませてはくれませんでした。

今年の桜と私たちはどのように迎えて、どのように感じるのでしょうか。昨年と同様に、心落ち着かず過ぎるのか、穏やかに受け入れてくれるのか。

早期に終息し、世の中が明るくなることを願って、任期最終の会報といたします。

原稿執筆の会員皆様に感謝、感謝です。【阿部清楓】

【広報部】

※連盟加入の会員の団体・個人で
展覧会開催の掲載を希望される
場合は、事務局か広報部にお知
り下さい。

部 長	阿 部 清 楓
副 部 長	東 海 林 汎 山
部 員	伊 藤 清 子
	伊 藤 雅 人
	角 田 萩 瑠
	荒 川 康 一

(秋田魁新報社)

筆、墨、硯、紙から額縁まで全品3~4割引
貸額、軸装、古軸仕立て直し承ります

書道用品専門店

東方交易 秋田店

午前10時~午後5時(日曜日・祭日は午後5時迄)

〒010-0001 秋田市中通1-2-3
リバーサイド秋田ビル5F 502号
TEL / FAX.018(837)2220

特設コーナー他お買い得商品が満載 ネットショッピング

東方交易 楽天・Yahoo・amazon
はがき、電話、FAXでもどうぞ

美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号

TEL 018 (846) 8496

あなたの発想を



カタチに。



株式会社 塚田美術印刷

〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018(823)5551(代) FAX 018(823)5553